

みんなに知ってほしい

モー新聞



点字ブロックは視覚障がい者の命綱

どこを歩いたら安全に歩けるか、分かるき安心だね。



点字ブロックは日本人が考案したもので、1967年3月18日に初めて岡山市に設置されました。考案したのは、岡山県で旅館を営んでいた三宅誠一さん。「失明してしまつた友達を何とか街中で歩けるようにしたい」という想いから考案されました。

ヒントになったのは、「目の不自由な人は、苔と土の間の境目が靴を通じて分かる」という友人の一言だったそう。視覚障がい者の感覚の鋭さを垣間見る一言。そして、第一次オイルショックを契機に国内に広まり、2012年には点字ブロックの国際規格が日本のJIS規格を基に定められ、現在では150か国以上の国に広がっています。

3月18日は「点字ブロックの日」

みなさんをお願い！
点字ブロックの上に物を置かないで！

残念なことに点字ブロックの上に自転車が駐輪されていたり、車が一時的に駐車されていたり…

「視覚障がい者が車にぶつかった」「点字ブロックの上に置いてあった自転車を倒してしまった」「歩行の際大事な白杖を折ってしまった」なんてケースも珍しくないそう…



視覚障がい者にとって、点字ブロックは自分一人で街中を移動し生活するための、いわば命綱。一度試しに目をつぶって点字ブロックを歩いてみると分かります。どれだけ重要なものか理解できます…
改めて、点字ブロックの上への駐車・駐輪はご理解・ご配慮をお願いします。

点字ブロックの形状の違いは？

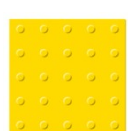
点字ブロックにはおおきく2つの種類があります。

線状ブロック



突起によって、障がい者が進む方向を線状に示す点字ブロック。**誘導ブロック。**

点状ブロック



横断歩道や階段の手前など、何らかの注意を点状の隆起で喚起する点字ブロック。**警告ブロック。**

SOSのサインです！

白杖を頭上50cm程度にかかげて**SOSシグナル**を見かけたら、進んで声をかけ困っていることを聞いてサポートしてください。



お問い合わせは、
高知県立盲学校PTA
(連絡先)
088-823-8721